

令和3年度 学校自己評価・学校関係者評価委員会に係る評価結果報告

令和4年4月28日（木）開催

下記の通り、学校評価について報告いたします。

学校法人朋友学園 四国総合ビジネス専門学校 校長 岡本哲夫

	評価項目	評価 4段階	自己評価結果・改善方策等	学校関係者評価委員会 結果・質疑・意見 等
1	教育理念・人材育成	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針や努力目標は、学校要覧にも明文化され公表して、それに向けて努力をしている。 ・多様な生徒に対して社会や業界のニーズに合う人材育成に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目全般に適正な評価であり、特に問題はない。
2	学校運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・法人として運営方針を定め適正に運営されている。 ・各種事業計画に新たな企画を取り入れ、多種の校務に従事している。 ・チームワーク良く運営に協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各評価の結果が「B：おおむね十分」となっているのは学校の努力の結果といえるので、今後も努力を継続していただきたい。 ・専門学校の特色をもっと一般にPRしてほしい。
3	教育活動	B	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのコースごとに2年間のカリキュラムを設定し、検定・資格取得に向けて計画的に指導した。資格取得率も上昇した。 ・成績評価、認定等については学則で定め、オリエンテーションで周知した。 ・授業アンケートの結果を分析し取組方法や改善策をさらに検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを使うなど広告方法を模索し、ターゲットをどこに絞るかも考えて実施してはどうか。 ・2年間を見据えコースによって、カリキュラム、シラバスを設定し、資格取得率も向上している。 ・学生に対する授業アンケートは公表していないが結果を踏まえ、改善に努力している。
4	学修成果	B	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのコースごとに2年間のカリキュラムを設定し、検定・資格取得に向けて計画的に指導した。資格取得率も上昇した。 ・成績評価、認定等については学則で定め、オリエンテーションで周知した。 ・授業アンケートの結果を分析し取組方法や改善策をさらに検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検定受験への意欲の乏しい学生に対する指導の強化に期待する。 ・奨学金や特待生奨励金制度の支援体制を今後も継続して頂きたい。
5	生徒支援	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な就職会議や連絡により学生への支援体制は機能した。 ・高等教育修学支援制度、特待生奨励等経済的な支援体制を整えている。 ・卒業後も進路相談に応じている。 ・授業料等遅延による生徒は保護者へも連絡し全員が完納した。 	

6	教育環境	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育に必要なコンピュータは概ね対応できている。 ・入社前研修でミスマッチが生じないように努力している。 ・防火・防災訓練、浸水害・地震時の避難経路を作成、消防点検作業(関係業者)も実施し、所轄消防署の指導を定期的に受けている。 ・今年度はコロナの影響で訓練を中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいコースを開設する時は先を見据えて準備して欲しい。 ・入社前研修でミスマッチが生じた学生へのフォローをしっかりとって欲しい。
7	生徒の受け入れ状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・広報部を中心に様々な取り組みを検討している。 ・新型コロナの影響で対面でのガイダンスなどの機会が減っている。 ・納付金は分割納付、特待生制度の充実や支援体制を確立している。 ・高等教育修学支援制度(無償化)の認可を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者の安定した確保に努めて欲しい。その確保が財務にも影響すると思う。 ・職員、学生による高校生に対する、出前授業なども検討して欲しい。 ・ホームページをよく閲覧するので、興味を持つような内容を追加するなど検討してはどうか。 ・生徒支援の中で、教育相談体制も大切である。
8	財務	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学生数の増減が、生徒納付金収入に影響する。 ・財政基盤の安定を図るため学生数、求職者支援訓練生の確保が必要である。 ・工夫しながら収支のバランスを確保した。 	
9	法令等の遵守	A	<ul style="list-style-type: none"> ・関係規則、諸規定は明文化され遵守された。 ・個人情報に関して、きちんと対応した。 ・学校自己評価アンケートの実施により分析し、取り組みや改善策を検討した。 	
10	社会貢献・地域貢献	B	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者支援訓練生をハローワーク、高等技術学校の依頼により受入している。 ・各種検定試験会場として校舎を開放した。 ・ボランティアについては、依頼があれば周知、掲示し動員もしている。 	

評価基準アンケート結果＜A：十分である　B：おおむね十分である　C：やや不十分である　D：不十分である＞